



室町時代から連綿と続く笑いの伝統芸能。
大河ドラマから映画、舞台と、幅広く活躍する野村萬齋が貴方を古典の世界にご案内します。

野村萬齋 狂言会

2026. **8/2** 日 13:30開場
14:00開演

会場 倉敷市芸文館ホール

倉敷市中央1丁目18番1号 TEL.086-434-0400
JR倉敷駅(山陽本線)から徒歩15分/バス中央2丁目下車すぐ

[全席指定]

- 特等席5,000円
- 一等席4,000円
- 大学生以下(一等席のみ)500円

※当日各500円増

※就学前のお子様のお入場はご遠慮ください。

※前売で完売した場合は、当日券の販売はありません。

インターネット予約/<https://arsk.jp>

[ご予約・お問合せ]

アルスくらしき

TEL.086-434-0010

(営業時間9:00~17:00 土・日・祝日休み)

■主催/倉敷市・倉敷市文化振興財団・山陽新聞社

■共催/倉敷市教育委員会

[チケット取扱プレイガイド]

●チケットぴあ(Pコード: 541-396) <https://t.pia.jp>

●ローソンチケット(Lコード: 63151) <https://l-tike.com>

●e+(イープラス) <https://eplus.jp/mansai/>

チケット発売日/会員先行:令和8年5月13日(水)・一般発売:令和8年5月20日(水)



野村 萬齋

令和八年八月二日(日) 倉敷市芸文館

解説 野村 萬斎

小舞 景清

後

飯田 豪

地謡

岡 聡史

野村 裕基

月崎 晴夫

金澤 桂舟

狂言 貫髯

舅 石田 幸雄

夫 深田 博治

妻 高野 和憲

後見 月崎 晴夫

狂言 棒縛

太郎冠者 野村 萬斎

主 岡 聡史

次郎冠者 野村 裕基

後見 金澤 桂舟

休憩二十分

「貫髯」もらいむこ

酒を飲んで帰宅した夫が、酔った勢いで妻を追い出してしまふ。泣く泣く実家に戻った妻は、たびたびの夫の酒乱に呆れ果て、帰宅を促す父親の説得にも一向に応じない。翌朝、酔いが覚め後悔した夫は、舅を訪ね、妻を返してほしいと頼むのだが…

現代でもよくいる酔っ払い、酒癖の悪い仕様のない男を取り巻くお話ですが、三者三様の人間味溢れる登場人物の姿に、変わらぬ人の営みを感じられる狂言です。

「棒縛」ぼうしばり

二人の家長が、留守番中に酒蔵の酒を盗み飲んでいと知った主人は、太郎冠者を棒に、次郎冠者を後ろ手に縛って出かけてしまふ。それでも酒が飲みたい二人は知恵を絞り、縛られたまま酒を飲むことに ついに成功する。酔った二人が謡えや舞えやと大騒ぎして いる…。

自由の利かない手で酒蔵の戸を開けたり、舞を舞ったりと、遊び心に裏付けられた自由さがある作品です。観ているこちらにも心楽しくなれる、狂言の代表作の一つです。

出演者プロフィール

野村 萬斎 のむら まんざい

1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。3歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言」ざる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に出演する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演「敦」山月記・名人伝」「マクベス」「子午線の祀り」「能狂言」鬼滅の刃」「ハムレット」「能狂言」「日出処の天子」はじめ古典の技法を駆使した作品の演出など、現在の日本の文化芸術を牽引するトップランナーの一人として幅広く活躍。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞千田是也賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞、松尾芸能大賞等受賞多数。24年坪内逍遙大賞を受賞。石川県立音楽堂アーティストステイタムクリイティブディレクター、東京芸術大学・日本大学芸術学部客員教授。全国公立文化施設協会会長。

